

1st Stage SAKAI | 5.21 | SUN  
Start ▶ 13:35

## 2.6km 堺ステージ

●天候：晴れ26℃ ●来場者数：72,000人  
●ステージアンバサダー：今西尚志 ●ホームステージチーム：シマノレーシング



堺ステージ優勝 ルーク・ランパーティ (トリニティ・レーシング)

## ツアー・オブ・ジャパン2023堺ステージ、 トリニティ・レーシングがワン・ツーフィニッシュ!

4年ぶりに復活したTOJ伝統のオープニングレースは、2019年7月に世界文化遺産に認定された仁徳天皇陵古墳のある堺市大仙公園周回コースで行われた個人タイムトライアル (2.6km) レース。

プロロードレーサー達の圧巻のスピードを間近で観戦できるとあって、会場及び沿道には72,000人の観客が集まり、熱い声援を送った。

好タイムを出したのは、12番出走のファーガス・ブラウニング (トリニティ・レーシング)、タイム3分9秒96。これが当面のターゲットタイムとなった。

その後、橋本英也 (チームブリヂストンサイクリング)、カーター・ベトルス (ヴィクトワール広島) と3分9秒台の攻防が続く中で、ベンジャミ・プラデス (JCL TEAM UKYO) が3分8秒94とタイムを更新。その後、トリニティ・レーシングのルーク・ランパーティとリアム・ジョンストンの2名がタイムを更新し、それぞれワン・ツーフィニッシュで初日を締め括った。

日本人は岡篤志 (JCL TEAM UKYO) がトップから1秒7差で3位に、2022年個人総合優勝のネイサン・アール (JCL TEAM UKYO) はトップから5秒66差で明日の京都ステージに向かう。

ルーク・ランパーティ  
(トリニティ・レーシング) のコメント

最初のステージで優勝できて、非常に良いスタートが切れたと思います。レースなので、どうなるかは分からない部分もありましたが、タイムトライアルは得意分野なので勝てるチャンスがあると思っています。明日はハードなコースで、影も手強い存在になってきますが、頑張ってこのグリーンジャージをキープしたいと思っています。



▲チームカーのSUBARUレヴォーグ



▲大仙公園催し広場



▲併ステージアンバサダー 今西尚志氏



▲国際クリテリウムスターター 堺市長 永藤英機氏



▲個人タイムトライアルスターター  
一般社団法人自転車協会 理事長 伊藤政博氏



▲個人タイムトライアルスタート



▲個人総合時間賞のルーク・ランパーティ(トリニティ・レーシング)と  
大阪府 府民文化部文化・スポーツ室 スポーツ振興課長 杉本当弘氏



▲個人総合時間賞 ルーク・ランパーティと  
堺市産業振興局 産業戦略部長 橋本隆之氏



▲新人賞 ルーク・ランパーティと堺観光コンシェルジュ 小川美桜氏



▲ポイント賞 ルーク・ランパーティと堺観光コンシェルジュ 松尾裕美氏



▲ホームステージチームのシマノレーシングチームカー



▲未就学児向け自転車体験

第1ステージ順位

1位 ルーク・ランパーティ(トリニティ・レーシング)	3分6秒34
2位 リアム・ジョンストン(トリニティ・レーシング)	+1秒48
3位 岡 篤志(JCL TEAM UKYO)	+1秒70



個人総合時間賞(グリーンジャージ)

1位 ルーク・ランパーティ(トリニティ・レーシング)	3分6秒
2位 リアム・ジョンストン(トリニティ・レーシング)	+1秒
3位 岡 篤志(JCL TEAM UKYO)	+2秒



個人総合ポイント賞(ブルージャージ)

1位 ルーク・ランパーティ(トリニティ・レーシング)	10pt
2位 リアム・ジョンストン(トリニティ・レーシング)	9pt
3位 岡 篤志(JCL TEAM UKYO)	8pt



個人総合新人賞(ホワイトジャージ)

1位 ルーク・ランパーティ(トリニティ・レーシング)
2位 リアム・ジョンストン(トリニティ・レーシング)
3位 ファーガス・ブラウニング(トリニティ・レーシング)